

# 土佐街道

## ～四国中央市 歴史の道のご案内～

500m

境内の石灯籠は13代藩主山内豊熙侯が海上安全を祈願し寄進したもの。  
**川之江ノ八幡神社**



**檜下げの松**  
上分町松月庵にあった松で、山内侯がその見事な枝振りに切るのを制止以来、ここでは楯をかかめ馬上の武者は身をかがめ通ったと言われる。



**平山登山口**  
付近には松ノ木茶屋跡やお小屋倉跡石碑がある。



**横峰・山内侯歌碑**  
かつて広く景色が見渡せたこの場所には、9代藩主山内豊彦侯が詠んだ歌碑がある。



**水ヶ峰地藏堂**  
お堂には地藏菩薩、弘法大師、不動明王の3体の石仏が安置されている。



四国中央市には、土佐藩参勤交代道でありた土佐街道やへんろ道が、山間部を中心に当時の姿を色濃く残しています。  
自然にも親しめる登山コースとして、「歴史の道」を散策してみたいいかがでしょうか？  
※点線部分は、車移動が可能です。

以前は数軒程度の集落があり、茶店跡には現在も釜等が残り、高く積み上げられた石垣と併せ当時の生活を偲ばせる。



**中西（新宮小中学校付近）**  
国道319号から新宮小中学校を横切る横峰越えの一升水までの山道にある不動堂は第65番札所三角寺末廬とも言われる。



**馬立本陣**  
6代藩主山内豊隆侯の享保3（1718）年から16代藩主豊範侯の文久2（1862）年までの間、参勤交代時に本陣としていた屋敷で、石垣や正門等当時の面影を残す。



**霧の森**  
地域の観光拠点として、カフェ（茶フェ）やレストののほか、名産の新宮茶や霧の森大福を販売するふれあい館等が揃う「道の駅」。



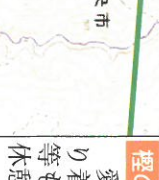
**下り付**  
笹ヶ峰越えの愛媛県側登り口。付近には15代藩主山内豊信（容堂）侯詩碑があり、その左は文化庁が「歴史の道百選」として平成8（1996）年に選定したことを記念したものである。



**腹包丁**  
笹ヶ峰越えの最も険しい場所、腹包丁の名は急峻斜面を武士が下りるとき、刀のこじりかつかえるため腹の間に回し下ったとの由来による。



**檜のやすば**  
愛媛県側から腹包丁を越え池り着いたこの場所は、昔は茶店等もあり急峻斜面を登った後の休憩所であった。



**笠取峠**  
笹ヶ峰越えのほぼ中間で、人々は一度笠を外し休憩したと言う。東側に通ずる道（犬の墓道）には、立川番所書院と脇本陣への犬の飛脚の墓がある。



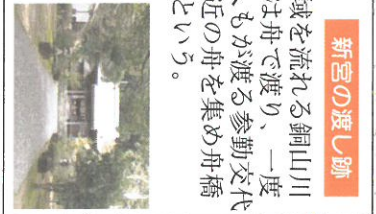
**笹ヶ峰登山口**  
側登り口。  
しばらく歴史の面影を残す石崖が長く、土佐街道の面影を道案内する。



**新宮の渡し跡**  
この地域を流れる銅山川をかつては舟で渡り、一度に2,500人もか渡る参勤交代時には付近の舟を集め舟橋を作ったという。



**熊野神社**  
四国内にある多くの熊野神社の中でも筆頭格に列せられる歴史ある古社。



**七曲り～水無峠**  
水無峠と呼ばれる平坦な場所には茶店もあり、旅人の休憩所となっていた。



**村立さん**  
伊予路に入り間もなくの地点にある石地蔵。安政5（1858）年、馬立村（現新宮町馬立）の種治や讃岐仁尾村（現香川県三豊市仁尾町）の九兵衛の寄進による。



**笹ヶ峰**  
山頂（1016m）のすぐ東で、愛媛・高知県境に位置するこの場所は土佐領最後の休憩所でもあり、明治以降はわらじや餅を売る茶店等も出ていた。



**へんろ道**  
市内唯一の札所第65番三角寺と番外札所之院仙龍寺とを結ぶ道は、土佐街道同様昔の面影を色濃く残す。



**距離の目安**

川之江ノ八幡神社	2,1500m
檜下げの松	3,2500m
平山登山口	2,3000m
横峰・山内侯歌碑	750m
水ヶ峰	1,2000m
一升水	2,1000m
中西（新宮小中学校付近）	3,8000m
馬立本陣	2,15000m
下り付	5000m
腹包丁登り口	1,45000m
檜のやすば	7000m
笠取峠	9500m
水無峠	4500m
七曲り	5500m
村立さん	3000m
笹ヶ峰	1,1000m
笹ヶ峰登山口	

立川番所書院へ